

令和5年度 事業所内自己評価表 放課後等デイサービス のいちごのいえ

	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整	① 利用定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか	100%			学齢別に活動を細分化し人員配置 地域の資源を活用している
	② 職員の配置数は適切であるか	100%			設置基準+1.5名配置している 年齢、特性に合わせて配置
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%			トイレ、洗面台、事業所入口に 配慮有り
業務改善	④ 業務改善を進めるための、PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%			朝礼、終礼は毎日実施 利用者一人ひとりについて必ず支援会議を実施
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げているか	100%			保護者の事業所評価を実施 保護者の意見は聞く体制を常に整えている
	⑥ この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか			100%	
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			福祉専門のコンサルによる定期的支援研修も受けている。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			ニーズ把握に努め、それを課題として支援計画に反映 客観性を得るため常に全職員で話し合っている
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%			事業所独自のアセスメントシートを作成し、統一の基準において状況の把握に努めている。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			事前に計画を立て、当日にも再検討、確認、振り返りと次回の修正をしている。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			利用者に応じた活動 楽しみになる活動を工夫している
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%			支援計画を基に行っている 計画通りに運ばないこともある
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			利用者の課題に応じて作成している 例)個別で運動→クッキング活動(コロナ対応クッキング)
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			必ず全職員で実施 午後からの児童受け入れ前に、再確認、場合によっては微調整している。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い気付いた点を共有しているか	100%			職員終礼時に必ず実施
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか	100%			客観的に記録をとるよう努めている
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			6ヶ月のモニタリング期間にこだわらず、必要に応じて見直しを行い、保護者とも共有している
	⑲	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	100%			
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にこの子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			児童発達支援管理責任者だけでなく必要に応じて支援担当者も参加している
	㉑	学校との情報共有(年間計画-行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等)、連絡調整(送迎時の対応-トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	100%			事務的事項の情報だけでなく、利用者の状況、支援についても共通理解、情報共有に努めている
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医と連絡体制を整えているか				現在のところ受入れなし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%			当事業所利用前に保育所等を訪問し、利用者の見学と共に情報共有を図っている
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				相談支援事業所を介して実施している他のサービスを利用の場合でも情報提供を行っている
	㉕	児童発達センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	75%	25%		専門機関、専門家とは常に連携し、アドバイスを仰いでいる
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	50%	25%	25%	土日が閉所のため交流は難しい 外出先等で機会があれば積極的に交流している
	㉗	(地域自立支援)協議会等で積極的に参加しているか	100%			長崎市自立支援協議会子ども部会の研修等に参加
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			面談時の共通理解、情報提供はもとより、日頃より常に連絡を密にしている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	25%	75%		時間の確保や保護者の興味関心等を鑑み、現時点での必要性を感じない。 必要に応じて個別に勉強会の案内や専門書籍の貸し出しをしている。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			利用契約時に必ず書面にて説明
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			助言が適切であるかどうか、判断しかねる
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催したりする等により、保護者同士の連携を支援しているか	75%	25%		開催した。今後は参観日等を設けて保護者も活動に参加できる機会を設ける。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備すると共に、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ丁寧に対応しているか	100%			苦情は今のところないが体制は整っている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を保護者に対して発信しているか	100%			月間プログラムを配布 HUGで活動内容等を毎日お知らせしている
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	100%			
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			視覚情報や直前の確認等、必要に応じた方法を用いている
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	25%	50%	25%	ご近所さんとは日常的に関わっている。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%			防犯マニュアルを検討している。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行っているか	100%			年に2度、火災及び地震想定避難訓練を実施した。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			3ヶ月毎に研修会を実施した。具体例を挙げて学んでいる。
	④②	どのような場合についてやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			令和5年度は強度行動障害の特性をもった利用者さまの事例を元に研修会を行った。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	75%	25%		保護者より事前にアセスメントしている
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			話し合いと共に書面にも残している